

この塾代表 河野麗子(このれいこ)

2018年4月、新年度が始動しました。ー

3月、高3と中3が抜けた教室、安堵感と寂寥感を感じながら、しばし佇む時間、それはどの教員も毎年体験する光景です。しかし、学習塾ともなれば、時を止めている暇もなく、目まぐるしく明日に向けて始動しなければなりません。



今年、この塾には新しい教員も加わり、
いっそう新鮮味と明るさが増しました。

私、河野は母校である早稲田の友人と今年も旅行の計画を立てていますが、まだ現役の私のスケジュールに合わせるのが大変だから、もう引退したら、と友人からも言われます。が、河野麗子は生涯現役にこだわる予定です。

私が教えた生徒たちの子供さんも、古くなった毘沙門台の教室に元気よく通っています。その姿に昔中学生だった親御さんの姿が見えます。

ー今年も中3と中2の英語を担当します。現役で授業を持つことが、教室全体の改革や前進への道を開くことになるからでもあります。

ーわかるようになった、英語が面白くなった、成績が上がった、と言ってもらえるように、新人の気持ちで頑張ります。

(2018年4月)

河野由希子(このゆきこ)

高校生・中学生・小学生 英語・数学・国語 担当

満を持しての登壇です！

今春より、この塾の教員となりました。幼い時から塾の先生になるのは、私の夢でした。



大人になり、再度大学受験を経験。この春、無事、大阪大学（人間科学部人間科学科）を卒業。阪大では、動機づけ（モチベーション）の研究に携わり、卒業論文のタイトルは、「褒め言葉が動機づけやパフォーマンスに与える効果」でした。

私自身が大学の受験勉強を、経験したばかりでもあり（若い子に混ざって予備校に通いました！）、また2人の男の子の母親でもあります。生徒、そして親御さんの気持ちに共感しながら、「どう接すれば、このお子さんは、やる気を出して取り組めるのか？」を、大学で学んだ学習意欲の理論、そして自身の子育て経験を照らし合わせ、皆様のお役に立てるよう、全力で進んでまいります！

最近の趣味は、ジムで筋トレ。体力をつけ、美尻をめざしてトレーニング中。なので、いつも筋肉痛です（笑）

長い歴史を持つこの塾、長さゆえに新鮮味が薄れているのを感じていた昨今、満を持しての由希子先生登場です！由希子先生の出現が深み始めたこの塾に小さいけれど風穴を開け始めています。今年も中学生の英語・国語・数学を担当します。

(2018年4月)

沖田幹男(おきたみきお)

中学生 理科・社会・数学、小学生 担当



『やる気を実力に変える』をモットーに授業にのぞんでいます。

質問しやすい先生・質問した時わかりやすく教えてくれる先生だと
言ってもらえるよう、また、生徒が『やる気』を出せるよう、
持てるようにいろいろ例をあげながら説明するように心がけて
います。身の回りや社会の中に関連することを織り交ぜながら、

勉強に興味を持ち、そして自ら進んで努力できるようになってほしい
と願っています。そのために、希望に合わせていろいろな教材も用意しています。

小学生算数・国語から中学生の社会・理科・国語・数学に至るまで、生徒と接する時間が最も多い先生
です。生徒のためなら自分の時間を削ってでも尽力します。

社会が最も得意で、話題性の豊かさや面白い話など魅力いっぱいですが、時に話題が広がりすぎる欠点
もあります。この塾へ指導者として参加したのは、本人が大学生だった時からなので25年以上この
塾で指導に当たっていることになります。

(2018年4月)

池田祐二(いけだゆうじ)

高校生・中学生 数学、小学生 担当



この塾で、数学を指導するようになってから、気がつけば18回日の
春になりました。いつも多くの生徒と共に学び、充実した日々を
送ることができることを感謝しております。

その日々で私がよく生徒に質問されるのが、「どうすれば先生みたいに
に数学ができるようになりますか?」です。

このとき、私は「先生はほぼ毎日数学の勉強をしています。
みんなに教えているだけじゃなく、自分で問題を解き、本当に毎日
数学に関わっています。

他の教科もそうですが、数学は積み重ねの科目です。日々の繰り返しの勉強で、できるよう
になっていくものです。だけど、みんなは数学以外の勉強もあるだろうし、この毎日というは難
しいかもしれません。だから、せめて学校の授業・塾での授業の1時間1時間の積み重ねを大
切にし、集中して受けてください。あとわからない問題をほっとかないで、調べるなり先生に
質問するなり、是非やってください。自分から道を開くことが大事です。」と答えています。
あたりまえの事ですが、大切な事です。

私は生徒が集中して取り組めるよう工夫し、質問にはできるだけ丁寧でわかりやすい解説を
こころがけています。

これからも生徒とともに成長できることを望んで、努力を続けたいと思っています。

主な指導分野は大学入試数学・高校入試数学・中学入試数学。

池田先生はこの塾で16年、中学入試から大学入試2次試験まで、数学一筋に生徒と歩んできました。

生徒からの信頼も厚く、授業はいつも静かで真剣な様子が伝わってきます。

(2018年4月)

河野美保子(こうのみほこ)

中学生 英語・数学、小学生 英語 担当



小学生～中1の英語を主に担当しています。教える立場になって初めて気づくことがたくさんあります。

生徒のがんばりを見ると、自分のモチベーションも自然と上がり、授業へのやる気はお互いのバランスが大切なのだと思います。生徒の反応を見ながら柔軟に対応していけるように心がけています。

授業を作るのは、完全に生徒と先生の共同作業、先生の意欲は生徒のモチベーションアップに、そして生徒の意欲は先生のさらなる意欲となります。

美保子先生は口数が多くない分、たくさんの手作りプリントを工夫しながら作成、度々生徒さんへ配布、補充して成績UPへと導いています。

(2018年4月)

見代光広(けんだいみつひろ)

高校生・中学生 国語・英語・数学 担当



基礎・基本を重視します。根本から理解し、使って覚え、他と関連させることにより、忘れない・応用できる知識を習得できることを目指します。

わかると楽しいし、できるとうれしい。今までの自分より少しでも成長しましょう。精一杯応援します！

見代先生は 広島大学教育学部英語教育学科卒業ですが、この塾では2013年から「英語・数学・国語」を担当しています。非常に熱心に教材準備をし、手抜きなしの力をこめた指導で、生徒からの信頼も厚い先生です。

(2018年4月)

仁品章 (にしなあきら)

高校生・中学生 英語・国語 担当



私は広島県出身です。父親の仕事の都合により、1歳から東京で育ち、早稲田大学大学院を修了、1975年大手電機メーカーに入社しました。1年の3分の2を海外勤務する生活でしたが、2003年1月妻の病により早期退職を致しました。

その後故郷の広島に帰り、これまでの経験を生かすことのできる塾の講師を生涯の仕事と選んで、中・高生の国語と英語及び小論文を担当して今日に至っております。

塾人として、若い生徒たちの未来に少しでも関われることは大変嬉しいことです。

最近では、公立高校の入試問題が記述中心となり、作文力なくしては全ての教科に大変不利なのはご承知の通りです。仁品先生は大学入試の英語・国語・小論文に加えて、昨年から中学生の「記述問題対策」を担当しています。文章読解力と作文力をつけるためのこの講座は、大変好評で、今年も6月から開講します。

(2018年4月)

青木淑恵 (あおきよしえ)

中学生・高校生 英語担当



青木先生は広島大学文学部英語英文学科の卒業です。

平成27年からこの塾で高校生と中学生の英語を受け持ち、今年で4年目になります。過度の緊張や刺激を与えないゆったりした口調で説明します。

生徒たちは落ち着いて、授業に取り組めます。

(2018年4月)